



濡れたライブラリー

人妻司書の隷従

#2

Presented by
ふじたじゅん

絶好調の図書「姦」シリーズ!!

参考書
探してたら
いい所に
出くわしたぞ
働く
大人の女性
—
憧れるよなあ





ちよっと
ズルいかな？

じゃ
二人だけの
ヒ・ミ・ツね♡

——半年前に
もらった
あのヤマは
大当たりだった

……あの
素敵な人が

どうして
あんな目に
遭わなくちゃ
ならないんだ



渡された
予約カード……

日付は今日
タイトルに3時

これは
この時間に
来てほしい……
という意味なんだろうか——

いや！
とにかく
行ってみよう

思い違いだと
笑われても
かまわないさ

※ 神林が担当します

資料名

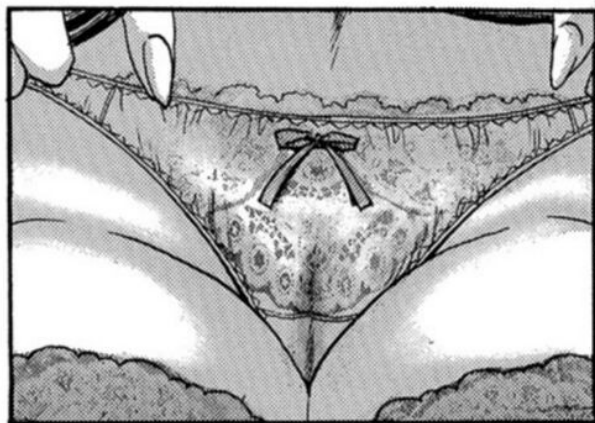
「お茶会は午後三時に」

請求番号

貸出予定日

月 22 日











神林さんの
スマホ…
これ
僕宛て…!?



楽しませて貰っているよ
すべて 見ているからね
指示に逆らえば…
奥さんの写真は
ネットに拡散するよ
分かるよね 童貞くん?

君にも
奥さんの最新作を
1枚見せてあげよう

これって
先週の——!!



捜してもムダだよ
あまり騒ぐんじゃない
奥さんの為にも ね

やっぱり
脅迫者が
いたんだ!
それに
今も近くで
こっちを見てる!?





では 童貞くん
近くに行って
匂いを嗅いでみたまえ



なっ!!



…お願い
言う通りに…



い…いいのか
本当に…
けど従わないと
神林さんが…



で
でもっ





これが女の人の
匂い……!

石鹸と汗の匂いの奥に
甘酸っぱい香り……

ごめん
神林さん……!



あ……

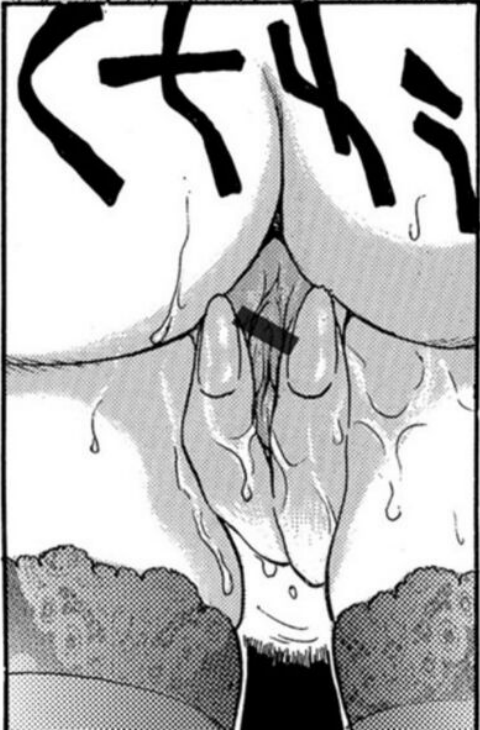
!?

股間の染みが
どんどん
広がって
形がくつきり……!



フフ 奥さん
中がどうなってるか
見せてやりな
指で大きく広げてね

あ……アソコが
かすかに
震えてる……!?





欲しがってるようだねえ
指でも突っ込んで
人妻を慰めてあげなよ
良しと言うまで休むなよ

あ…妖しく
濡れ光って
ひくひくして
これじゃ
まるで……





バレた!?



君だよ!
さつきから
うるさいよ
静かにしなさい



すみません
気をつけます



大丈夫です

ごめんなさい
私ったら
つい声が...



神林さん!

あら
顔が赤い
熱でも?

い...いいえ
問題ないわ
何...かしら?

読み聞かせ会の
時間なんですけど
今回は希望者が
多くて...

人手が足りないので
カウンターの方
お願いできますか?



わかりました
すぐ…行きます

ぜ…前回は
好評だった
ものね…

ええ！
寸劇風にしたの
大ウケでしたもん

さすが
神林さん！

「決して
指を止めては
ならない」

すみません
神林さん
今は我慢を

ん？

神林さんの
腰――

自分から
揺れて…
動いてる!?

あっ

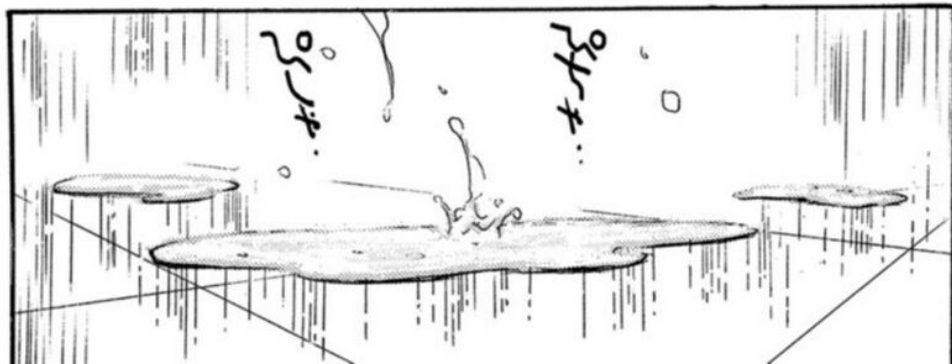
仕事だね カウンターへどうぞ
指は抜くなよ 童貞クン



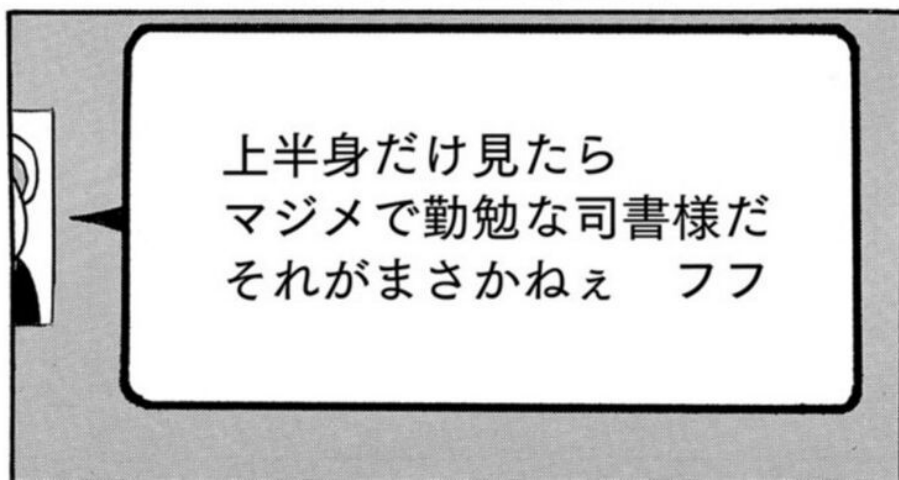
平気...よ...

歩けるわ...

だ...
大丈夫ですか？







あのーこの本
続編って
あるんですか？

はい…
シリーズ化
されていて
三冊 出版されて
いますよ…



足の指なのに
手でされてる
みたいに
亀頭を…

ストッキングの
なめらかな
摩擦と
あいまって…

…くうっ

手続きは…
以上です
またどうぞ



すみた
墨田君
気持ちいいの？

ごめんなさい
実は……

話を聞いて
ほしかっただけ
なのに……
巻き込んで
ごめんなさい……

私もう——
嫌われちゃった
わね……

そっ そんな事
ないです！

僕なんか……
こんな状況なのに
神林さんが
泣いてるのに……

どこか喜んでる
自分が
いるんです

墨田君……

こんな私を
庇かばってくれて
ありがとう
嬉しかった……

やっぱり
君と話せて
よかったわ

「助ける」って…
言ったじゃ
ないですか……

もつと
気持ちよく
なつて！

私と…
一緒にっ
—！！

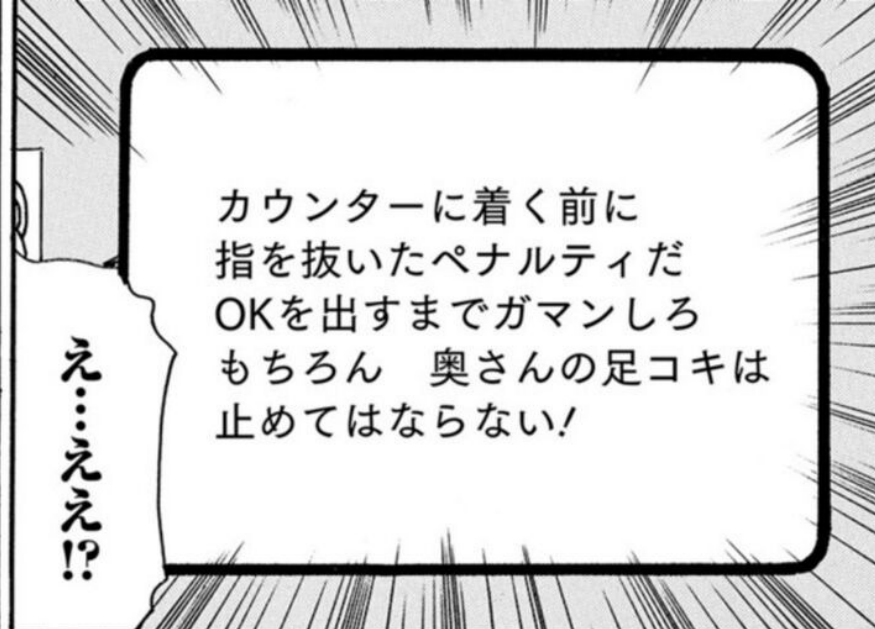
…くッ
ぼっ僕
もうッ！！

おっと待ち給え
射精は 許さないよ



だ…
大丈夫…
耐えますよ僕

ここには
返却本や
稀少本も
あるみたいだし



カウンターに着く前に
指を抜いたペナルティだ
OKを出すまでガマンしろ
もちろん 奥さんの足コキは
止めてはならない!

え…ええ!!



神林さんの
図書館…
汚すわけには
いかないです





もっ
もういいっ
いいのよ



おいおい
命令に逆らうのかい？





う…あぁッ



……あ



す……
すごい…

火傷しそうに
熱いのが
こんなに沢山…

【清楚な司書妻が落ちた卑劣な罠！童貞青年は彼女を救えるのか…!?】



そ…そんなに
見ないで
仕方…なかった
の……

手を洗いに
行ったら
途中でこぼして
しまうから……



あ……

ん…ツ…



これは更に
ペナルティかな

!!



助けた
この女性
を——！

つづく



僕のを
飲んだ…

あ…あの
綺麗な唇で…